

労働協約改訂・労働条件改善に向け

JR東海労は142項目の要求を提出！

本部は、2022年度労働協約改訂及び労働条件改善に関する要求を『申第4号』として会社に提出しました。会社は、コロナ禍を理由に労働条件を切り下げてきています。一方で、経営基盤を揺るがしかねないリニア建設を強引に進めています。それにより犠牲を強いられているのは私たち社員です。問題を解決し、より良い労働条件をかちとるため、名古屋地本も本部と共に闘います。

名古屋地本に関する主な要求項目

【勤務関係】

1. 在来線における乗継・分割・併合・折り返し・入換時間の見直し及びトイレ時間の確保。
2. 乗務員の休養時間確保のために拘束時間の制限、睡眠時間の労働時間外を6時間以上確保。
3. 乗務員の準備報告時間の不足によるサービス労働根絶。準備報告時間を増とすること。
4. 乗務員の規程の訂正は訓練時間内で行うこと。それ以外は超過勤務とすること。
5. 乗務報告書(スマホアプリ含む)作成は就寝前には行わせないこと。
6. 休養室のシーツ交換は業者が行うこと。

【賃金・制度関係】

1. 祝日手当(E単価)を復活させ1時間あたり50/100とすること。
2. 乗務員の手当増額。乗務キロ1kmにつき運転士3円・車掌1円。乗務時間1時間につき300円。
3. コロナウイルス慰労金を支給すること。無利子貸付制度を新設すること。

【出向社員の労働条件】

JR本体より休日数が少ない場合、差し引き日数に相当する労度時間をD単価で支給すること。

【専任社員の労働条件】

専任社員として65歳まで安心して働ける環境を整えること。選択肢を設けること。

【その他】

1. 鉄道開業150周年記念の特別手当10万円を支給すること。
2. 会社から貸与された制服はシーズン問わず社員の判断で着用を認めること。

要求実現に向け現場から声を上げよう！

